

次期総合戦略の策定方法について

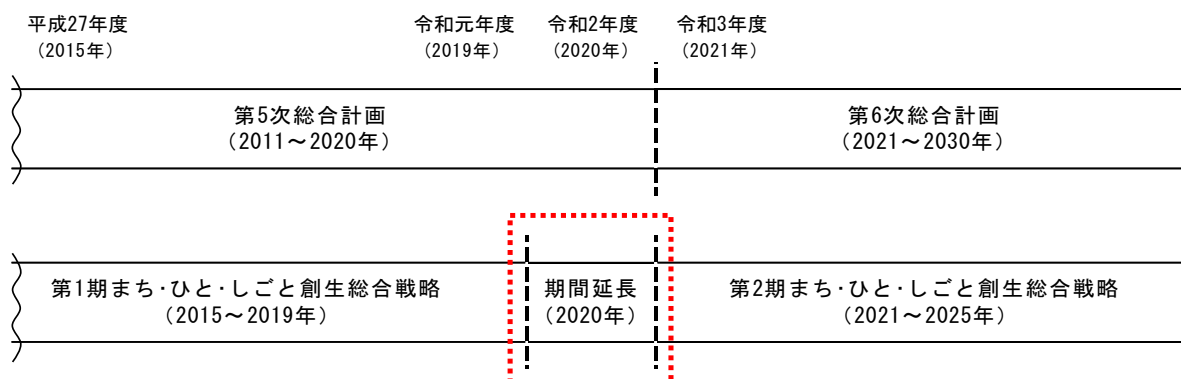
1 第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定に向けて

市ではまち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、平成27年度から平成31年度の5カ年を期間として、総合戦略に基づく取組を推進してきた。

令和元年12月の国の「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に伴い、地方公共団体においても切れ目のない事業の継続を図るため、同様に戦略の策定を行った。

ただし、本市においては、第6次結城市総合計画と一体化するため、次期総合計画の始期である令和3年度に合わせるにあたり、総合戦略を1年間延長（結城市まちひとしごと創生総合戦略2020）したため、今回、あらためて第2期戦略として策定を行う。

（参考）総合計画と総合戦略の期間



2 第2期の方向性

総合戦略2020を策定する際に、国の第2期戦略を勘案して作成したため、従来の4つの枠組み（しごと・人の流れ・若い世代の結婚出産子育て・地域づくり、地域連携）や第2期における新たな視点等（地方へのひと・資金の流れの強化、Society 5.0, SDGs, 地方創生を担う人材育成, 民間との協働, 女性, 高齢者, 障害者, 外国人総活躍社会, 地域経営感覚での取組み）については、継続したものとする。